



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月14日

上場会社名 株式会社マミーマート 上場取引所 東
 コード番号 9823 URL <http://www.mammymart.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 裕文
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小野原 秀次 TEL 048 (654) 2514
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	26,914	5.0	1,125	56.7	1,214	45.8	805	90.4
28年9月期第1四半期	25,644	3.7	718	△7.3	833	△6.4	423	△22.9

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 884百万円 (102.4%) 28年9月期第1四半期 436百万円 (△24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	74.64	—
28年9月期第1四半期	39.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第1四半期	54,138	24,096	44.5	2,231.17
28年9月期	50,348	23,320	46.3	2,159.33

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 24,085百万円 28年9月期 23,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	51,000	1.4	1,450	8.1	1,650	5.5	900	9.1	83.37
通期	103,000	2.0	2,800	10.0	3,150	1.6	1,750	0.8	162.11

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期1Q	10,796,793株	28年9月期	10,796,793株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	1,758株	28年9月期	1,758株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期1Q	10,795,035株	28年9月期1Q	10,795,100株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は完了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や米国大統領選挙とその後の米国新政権への期待から一部企業において株価上昇、円安が進んだこともあり、輸出と生産の回復などが見られたものの、企業業績の先行き不透明感、将来不安を背景とした個人消費の鈍化から、景気は依然として足踏みの状況が続いております。

小売業界におきましては、将来不安による消費停滞懸念や消費者の根強い節約志向、最低賃金の上昇と人手不足を背景とした人件費の増加、多様化する消費者のライフスタイルに対応する業態を超えた競合の出店攻勢や販売促進の熾烈化など、経営環境はますます厳しくなっております。

このような情勢の中、当社グループ（当社及び連結子会社）は、競争に打ち勝ち、多様なお客様のニーズ・ウォンツにお応えするため、「Back to Basics!」（基本に立ち返ろう!）をスローガンに、「個店主義」「商品開発」「時間帯MD確立」の3項目を重点取組項目として、店舗運営力を高めてまいりました。

営業面におきましては、名物商品の育成、オリジナル商品の開発、鮮度・味の向上を目的として生鮮部門の産地開拓、輸入商品・地域特産品の発掘をおこなってまいりました。

また、「Enjoy Life!」を深耕させ、食の力を芽吹かせる品揃えとサービスで健やかな毎日の食生活提案を推し進めてまいりました。

設備投資としましては、㈱マミーマートにおきまして、平成28年10月に飯能武蔵丘店（埼玉県飯能市）、平成28年11月に生鮮市場TOP川越店（埼玉県川越市）において店舗の改装を実施いたしました。また、マミーサービス㈱におきまして、平成28年11月に葬祭事業の彩愛メモリアルホールの改装を実施いたしました。したがって、当四半期末の店舗数は、温浴事業・葬祭事業を含め72店舗であります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高26,914百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益1,125百万円（同56.7%増）、経常利益1,214百万円（同45.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は805百万円（同90.4%増）となりました。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

[スーパーマーケット事業]

当第1四半期連結累計期間は、売上高26,789百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益1,116百万円（同57.4%増）となりました。

[その他の事業]

売上高124百万円（前年同期比31.4%減）、営業利益9百万円（同2.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より3,790百万円増加し54,138万円となりました。これは主に、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関休業日であることに伴う現金預金の留保及び有価証券の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より3,013百万円増加し30,041百万円となりました。これは主に、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関休業日であることに伴い仕入債務の支払いが持ち越されたことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ776百万円増加し24,096百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月14日に公表いたしました「平成28年9月期 決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,890	3,474
売掛金	780	1,183
有価証券	—	1,200
商品	2,540	2,908
貯蔵品	14	19
繰延税金資産	322	322
その他	1,444	1,921
流動資産合計	6,993	11,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,546	11,380
機械装置及び運搬具(純額)	230	230
土地	15,560	15,588
リース資産(純額)	1,791	1,751
建設仮勘定	1,700	1,751
その他(純額)	1,574	1,510
有形固定資産合計	32,402	32,213
無形固定資産		
	161	165
投資その他の資産		
投資有価証券	249	326
長期貸付金	296	289
差入保証金	7,718	7,606
賃貸不動産(純額)	371	371
繰延税金資産	1,398	1,394
その他	755	744
投資その他の資産合計	10,790	10,731
固定資産合計	43,354	43,109
資産合計	50,348	54,138

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,436	11,786
短期借入金	2,895	185
1年内返済予定の長期借入金	2,573	2,821
リース債務	154	154
未払費用	1,989	2,550
未払法人税等	544	448
賞与引当金	412	142
資産除去債務	39	—
その他	660	890
流動負債合計	14,705	18,979
固定負債		
長期借入金	6,299	5,786
リース債務	1,653	1,614
長期預り保証金	1,697	1,670
転貸損失引当金	132	123
役員退職慰労引当金	925	238
退職給付に係る負債	1,115	1,130
資産除去債務	488	490
その他	9	8
固定負債合計	12,322	11,062
負債合計	27,028	30,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	17,904	18,602
自己株式	△2	△2
株主資本合計	23,424	24,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	80
退職給付に係る調整累計額	△122	△117
その他の包括利益累計額合計	△113	△36
非支配株主持分	10	11
純資産合計	23,320	24,096
負債純資産合計	50,348	54,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	25,644	26,914
売上原価	18,918	19,838
売上総利益	6,726	7,075
営業収入	319	343
営業総利益	7,045	7,418
販売費及び一般管理費	6,327	6,292
営業利益	718	1,125
営業外収益		
受取利息	15	14
受取配当金	3	3
不動産賃貸料	39	51
受取手数料	43	45
その他	56	38
営業外収益合計	158	153
営業外費用		
支払利息	10	11
不動産賃貸費用	32	44
その他	0	9
営業外費用合計	43	64
経常利益	833	1,214
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	3	—
資産除去債務戻入益	14	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
固定資産除却損	7	2
転貸損失引当金繰入額	168	—
特別損失合計	175	2
税金等調整前四半期純利益	675	1,211
法人税等	250	404
四半期純利益	425	806
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	423	805

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	425	806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	71
退職給付に係る調整額	4	5
その他の包括利益合計	11	77
四半期包括利益	436	884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	434	883
非支配株主に係る四半期包括利益	2	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	25,462	181	25,644	-	25,644
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	0	0	△0	-
計	25,462	181	25,644	△0	25,644
セグメント利益	709	8	718	-	718

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	26,789	124	26,914	-	26,914
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	0	0	△0	-
計	26,789	124	26,914	△0	26,914
セグメント利益	1,116	9	1,125	-	1,125

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。